

主な出来事

【内政】

- マシシ大統領, 野党全党首と会談
- 大統領・内閣不信任案が否決
- 高等裁判所, ナミビア難民の強制帰還を差し止め

【外政】

- ダウ外相, AU総会に出席
- マシシ大統領, 中国訪問を予定
- マシシ大統領, BRICS首脳会合アウトリーチに出席

【経済】

- デビアス社, 好調な上半期の業績を記録
- ボツワナ電力公社, 過去10年間で初めて良好な業績を発表
- 第6回南部アフリカ関税同盟(SACU)首脳会合の開催

【文化】

- ボツワナ大学新学長の指名

【内政】

○ ナミビア難民, ボツワナ・ナミビア政府との会談をボイコット

11日を期限に難民認定が消滅予定のナミビア難民約900名は, 6月28日に予定されたボツワナ政府代表カティ司法国防大臣とナミビア政府代表シマタ情報通信技術大臣との強制送還に関する会議をボイコットした。(4日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領, カーマ前大統領の政府専用機の使用を拒否

地元セロウエで行われるコトラ会議に出席するため政府専用航空機の使用許可を求めたカーマ前大統領に対し, モルピシ大統領府首席次官は, 同要請がマシシ大統領により却下された旨及び陸路での移動を勧める旨回答した。カーマ前大統領による政府専用機の使用が却下されたのはこれで2度目。前回は, 前大統領と親しいコシ情報保安局(DIS)局長が同局専用機を前大統領に貸し与えたが, これが引き金となり同局長はマシシ大統領により解任されていた。(6日:メヒ紙)

○ 大統領・内閣不信任案が否決

ボコ野党連合「ボツワナ民主改革のためのアンブレラ(UDC)」代表は, 国会で, 国家石油基金横領へのマシシ大統領の直接関与などを理由に, 同大統領及び内閣に対する不信任案を提出。同決議案は, 賛成11, 反対35, 棄権3で否決された。(12日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領, 野党全党首と会談

12日, マシシ大統領を含む全ての党首が一堂に会し大統領府にて会談を行った。マシシ大統領は, 各党党首に対し, これまで(カーマ前政権時に)与党・政府が野党に対して行ってきた妨害行為を謝罪すると共に, 民主主義に向けた与野党の役割を尊重し, (カーマ前政権時に停止されていた)全党会議の復活を約束した。(13日:デイリー・ニュース紙)

○ 高等裁判所, ナミビア難民の強制帰還を差し止め

11日を期限にボツワナ政府により強制帰還を言い渡されていたナミビア難民は, ロバツェ高等裁判所に対し強制帰還の差し止めを求める旨提起していたところ, 同高等裁判所の判事はボツワナ政府に対しナミビア難民709名の強制帰還を差し止める暫定命令を下した。(13日:ボツワナ・ガーディアン紙)

○ ラモクウェバナ地方自治区選挙で野党連合勝利

ラモクウェバナ地方自治区で地方議会議員選挙が実施され, 野党連合「ボツワナ民主改革のためのアンブレラ(UDC)」所属のボツワナ人民党(BPP)から出馬したマフオトラ氏が, 387対293で与党ボツワナ民主党(BDP)スマイル氏を下し当選を果たした。同地区におけるBPPの勝利は24年ぶり。(18日:ボツワナ・ガゼット紙)

○ 野党BMD代表, 提出された野党連合党則の無効を主張

20日, ボコ野党連合「民主改革のためのアンブレラ(UDC)」代表及びサレシャンド・ボツワナ議会党(BCP)代表は, UDCの新たに改訂された党則を議会事務局に提出した。これに対し, ピラーネ・ボツワナ民主党(BMD)代表は, 党則の改定プロセスに不備があったとして, 党則は無効である旨主張した。本党則にはBCPの野党連合加盟が新たに記載されているが, ピラーネBMD代表はこれに異議を唱えていた。(23日:ウィークエンド・ポスト紙)

○ カーマ前大統領, 訪米日程の報告義務を怠る

モルピシ大統領府首席次官は, インタビューに対し, 近く予定されるカーマ前大統領の訪米に関し, 前大統領から報告を受けておらず, また, 前大統領に政府代表としての役目を付していない旨述べた。20日, カーマ前大統領は, 自身のフェイスブックに国際NGOコンサベーション・インターナショナルに関する業務で訪米を予定している旨記載していた。(25日:ボツワナ・ガゼット紙)

【外交】

○ ダウ外相, AU総会に出席

ダウ外務国際協力大臣は, 1日及び2日にモーリタニアで開催された第31回AU総会に出席した。同外相は, 汚職対策に関し, モニタリング評価と市民社会の重要性を述べると共に, ボツワナは汚職対策のため2016年に内部密告法を公布した他, 現在, 資産公開法の制定を審議している

旨述べた(当館注:同総会には当初大統領の出席が予定されていたが、政府専用機の不具合により急遽中止となった)。(5日:デイリー・ニュース紙)

○ 新オーストリア大使及び新パキスタン大使の信任状捧呈

9日、新オーストリア大使及び新パキスタン大使はマシシ大統領に信任状を捧呈した。インタビューに対し、オーストリア大使は、ボツワナに対し職業訓練支援や観光分野における知識や経験を提供できる旨述べた。また、パキスタン大使は、同国がこれまで多くの衣料・革製品、農業機械をボツワナに輸出してきた旨述べると共に、ボツワナ企業のパキスタン訪問と両国中小企業によるジョイント・ベンチャーの可能性を提起した。各大使は南アに駐在する。(10日:デイリー・ニュース紙)

○ 新カナダ高等弁務官、新サウジアラビア大使、新アイルランド高等弁務官の信任状捧呈

19日、新カナダ高等弁務官、新サウジアラビア大使、新アイルランド高等弁務官はマシシ大統領に信任状を捧呈した。インタビューに対し、カナダ大使は、エネルギー・鉱物資源分野における両国の協力関係強化に努めたい旨述べた。サウジアラビア大使は、同国がカーマ国際空港の修繕費用や電気事業でボツワナを支援した旨述べた。アイルランド大使は、同国の宣教師は、植民地時代のボツワナにおいて、キリスト教の布教のみならず識字率向上に役立つ教育教材を残した旨述べた。カナダ高等弁務官はジンバブエに、その他は南アに駐在する。(20日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領、中国訪問を予定

23日、ボツワナ・中国ビジネスフォーラムが開催され、ボツワナ投資貿易センター(BITC)と中国国際貿易促進委員会(CCPIT)が貿易関係強化のための覚書を締結した。同フォーラムに参加したザオ中国大使は、マシシ大統領が9月に中国北京で開催されるFOCACに出席する予定である旨明らかにした。(24日:デイリー・ニュース紙)

○ 新アラブ首長国連邦大使の信任状捧呈

24日、新アラブ首長国連邦大使はマシシ大統領に信任状を捧呈した。同大使は、ボツワナの平和と安全が同国投資家から好まれている旨、また、同国企業の投資誘致のためには更なる投資環境の整備が必要である旨述べた。同大使は南アに駐在する。(26日:デイリー・ニュース紙)

○ マシシ大統領、BRICS首脳会合アウトリーチに出席

27日、マシシ大統領は南ア・ヨハネスブルグで開催されたBRICS首脳会合アウトリーチに出席した。同大統領は、BRICSの各国首脳が途上国における課題解決を牽引しているとして、これを歓迎した。(30日:デイリー・ニュース紙)

【経済】

○ ボツワナの主要経済指標

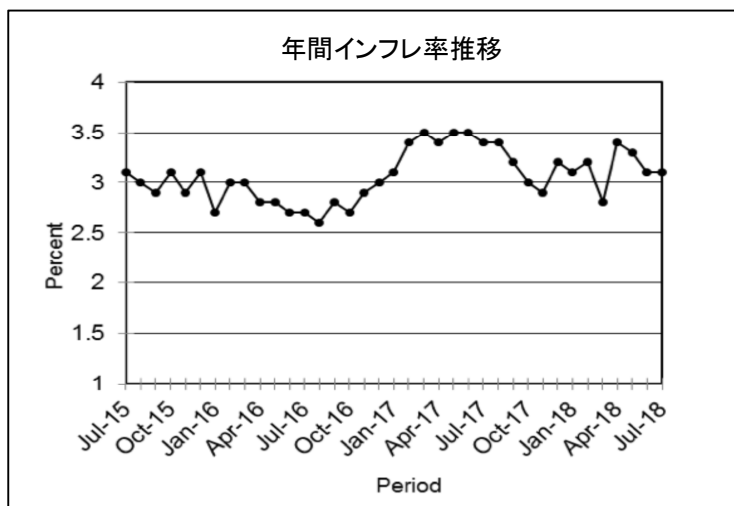
1) 経済成長率(出典:ボツワナ統計局)

2018年第1四半期のGDPは461億5250万プラとなり、前年第4四半期(466億5370万プラ)と比べて-1.5%となった。(2017年GDP合計は1801億1270万プラ)



2) 年間インフレ率(出典:ボツワナ統計局)

2018年7月は3.1%(6月は3.1%)。



3) 為替レート(出典:First National Bank of Botswana)

2018年7月31日

1プラ=0.095米ドル

1プラ=1.237南ア・ランド

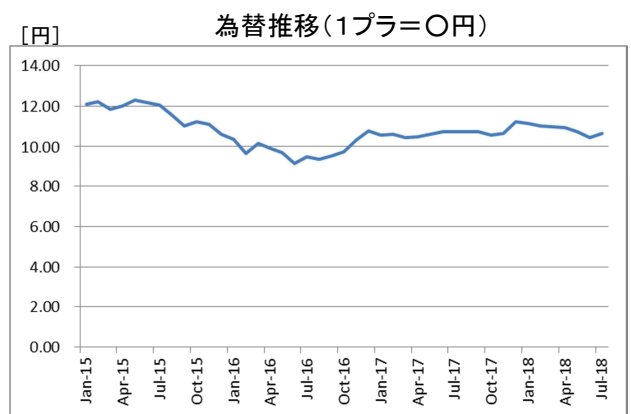
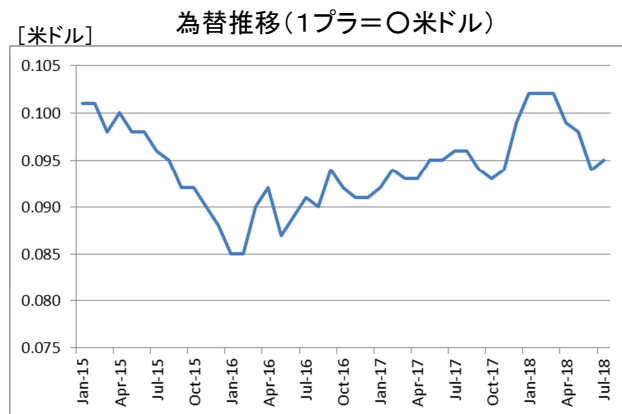
1プラ=10.67円

2018年6月29日

1プラ=0.094米ドル

1プラ=1.266南ア・ランド

1プラ=10.43円



○ ダイヤモンド産業

1) デビアス社、好調な上半期の業績を記録

デビアス社は、好調な2018年上半期の業績を発表した。同社によると、ダイヤモンドの売上単価は2017年よりも4%上昇し、また生産量は2017年同時期と比べ8%上昇した。ボツワナのデブスワナ社(当館注:ボツワナ政府とデビアス社との合弁企業)のダイヤモンド生産量は、2017年同時期と比べ9%上昇した。(28日:ウィークエンド・ポスト紙)

2) 鉱山での死亡事故、デビアス社を不安にさせる

デビアス社は2018年上半期に2名の従業員が鉱山で死亡したことを受け、安全対策を改定し、強化すると発表した。同死亡事故は今年に入り、ボツワナのジュワネン鉱山と南アフリカのベネチア鉱山で発生した。(29日:サンデー・スタンダード紙)

○ エネルギー・資源

1) 政府、100MWの発電所建設に係る再入札を実施予定

ボツワナ政府はTlou Energy社(豪)及びSekaname社を対象に100MWのコールベッドメタン(CBM)発電所の建設に係る再入札を実施する。ボツワナ政府と対象2社との事前入札会合は8月9日に実施され、入札期限は9月12日に予定されている。(1日:ボツワナ・ガゼット紙)

2) ボツワナ電力公社、過去10年間で初めて良好な業績を発表

ボツワナ電力公社(BPC)は2016/17年度の年次報告書を発表し、同報告書によると、同社の業績は過去10年間で初めて良好な結果となった。企業活動に係る収入は前年度に比べ34%上昇した一方で、経費は12%減少した。また、モルプレA石炭火力発電所及びモルプレB石炭火力発電所が安定したことにより、電力の輸入が減少した。(7日:ウィークエンド・ポスト紙)

○ 第6回南部アフリカ関税同盟(SACU)首脳会合の開催

6月29日、ハボロネにおいて第6回SACU首脳会合が開催された。同会合にはSACU議長であるマシシ・ボツワナ大統領、ムスワティ3世エスワティニ国王、ガインゴブ・ナミビア大統領、ラマポーザ南ア大統領、タバネ・レト首相及びエラゴSACU事務局長が出席した。マシシ大統領のSACU議長としての任期が7月中旬で終了することを受け、同大統領は同首脳会合においてタバネ・レト首相に議長としての職責を引き継いだ。(3日:デイリー・ニュース紙)

○ ボツワナ航空, モザンビーク航空との協定締結

ボツワナ航空はモザンビーク航空と特別比例分配協定(Special Prorate Agreement)を結んだ。同協定により、ボツワナのハボロネ, マウン, フランシスタウン発のボツワナ航空を利用し, 南アフリカのヨハネスブルクを經由してモザンビークのマプト, ベイラ, ヴィランクロス, ペンバ, テテ, ナンプラ, インハンバナ行きのモザンビーク航空を利用する際にスルーチェックインが可能となる。(12日:デイリー・ニュース紙)

○ Pula Steel社の動産, 競売へ

2015年に1億3000万プラで設立されたものの破綻し, 清算手続き中の鉄鋼生産企業Pula Steel社所有の車両, 機, 椅子などの動産が清算手続きで生じる支払い金の一部とするために競売にかけられる。同競売は8月にセレビ・ピクウェで開催される予定。(27日:メヒ紙)

【文化】

○ ボツワナ大学新学長の任命

マシシ大統領はボツワナ大学の新学長として前ボツワナ(中央)銀行総裁のモホト氏を任命した。同氏の任期は2018年7月19日から五年間となる予定。(27日:メヒ紙)